

# がん患者 お金ガイド



～がんとお金、備えておきたい自助努力編～

ファイナンシャルプランナー 黒田 尚子

# がん患者が直面する 「がんとお金」の3つの問題

がんは、いつまで、どれだけお金がかかるのかわからない(支出増)

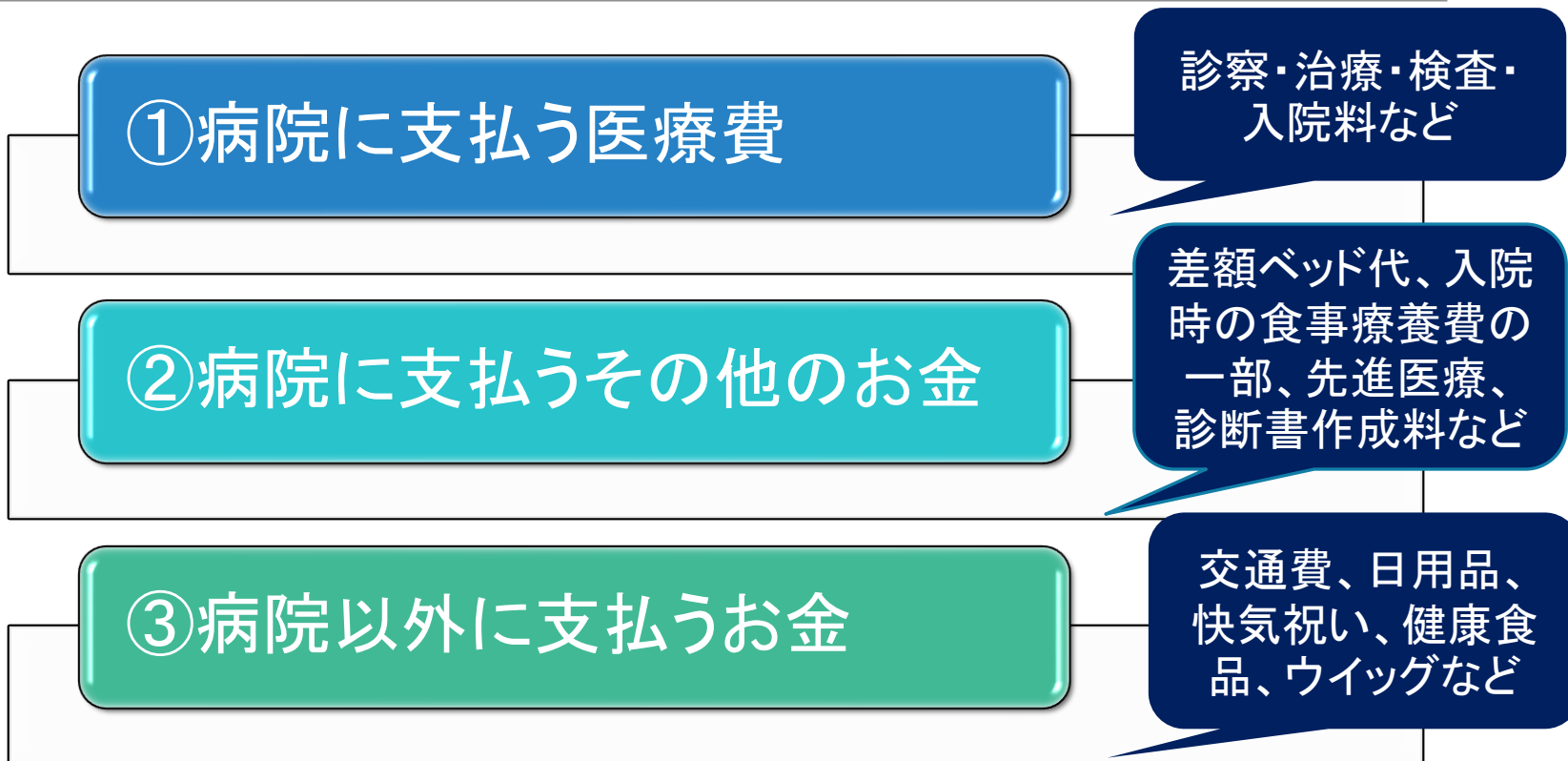
がんは、収入にも大きな影響を与える(収入減)

がんの経済的リスクに備える方法がわからない(情報不足)

# 「治療費≠医療費」に注意！



# 「がん」にかかる3つのお金



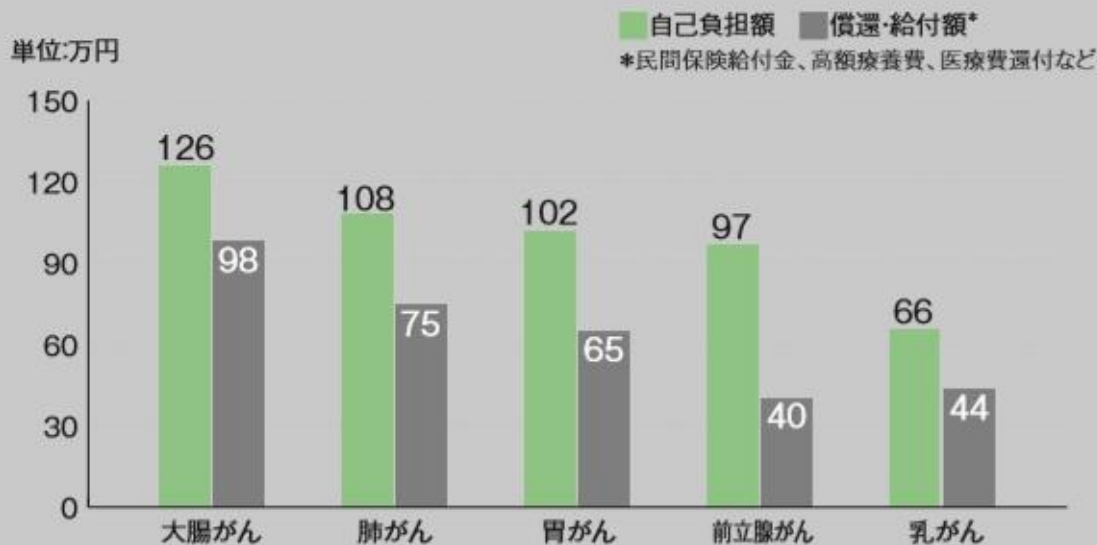
がんにかかるお金は「長期化」「高額化」の傾向

# 「がん」の医療費の目安

## ◆がんの部位別・自己負担額と償還・給付額

実質的な負担額は部位によって20~50万円程度と差がです。

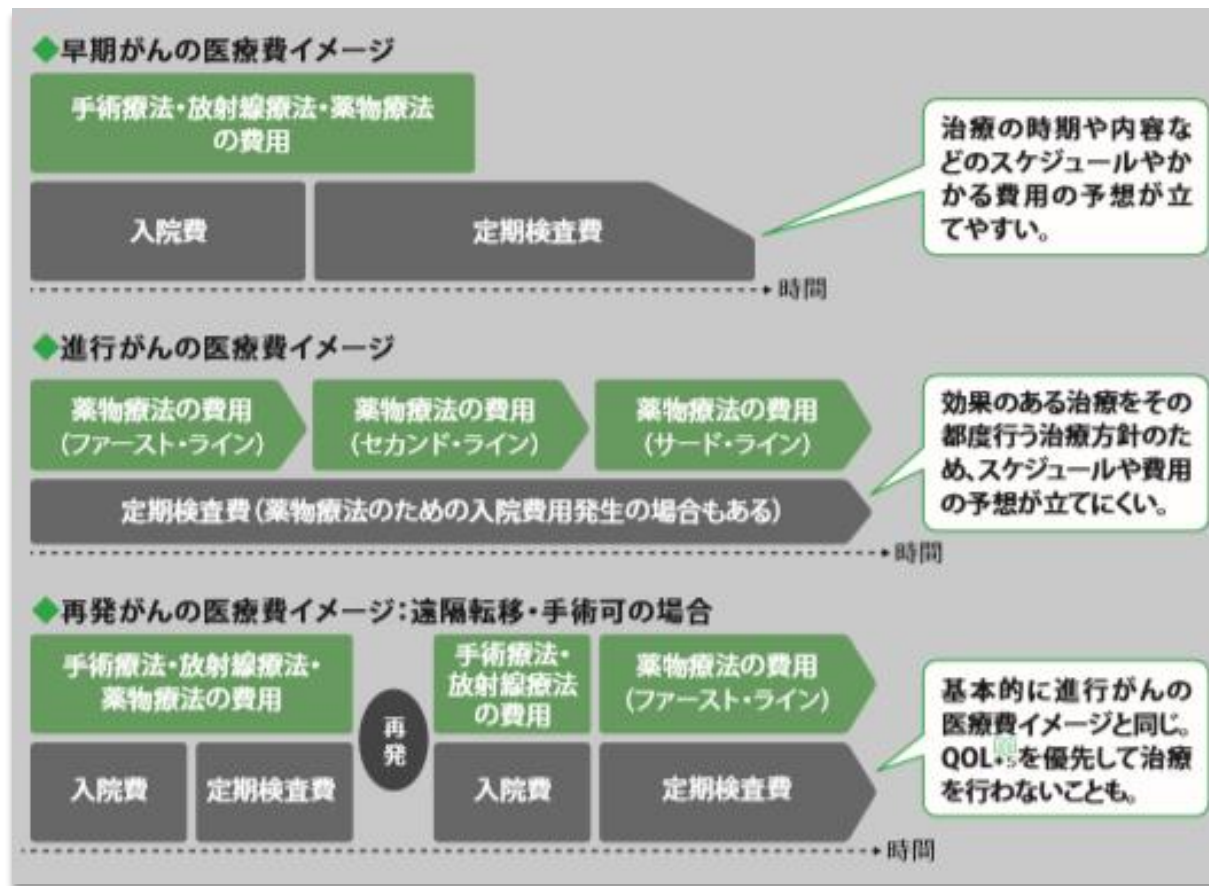
全体の平均	自己負担額(年間)	償還・給付額(年間)	実質的な負担額
	92万円	61万円	21万円



出所:厚生労働省 第3次対がん総合戦略研究事業「がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究」2012年度報告書

がん医療費は「がんの種類」、「進行度(ステージ)」、「価値観(医療にどこまでお金をかけたか・かけられるか)」によって変わる

# 「がん」医療費のかかり方

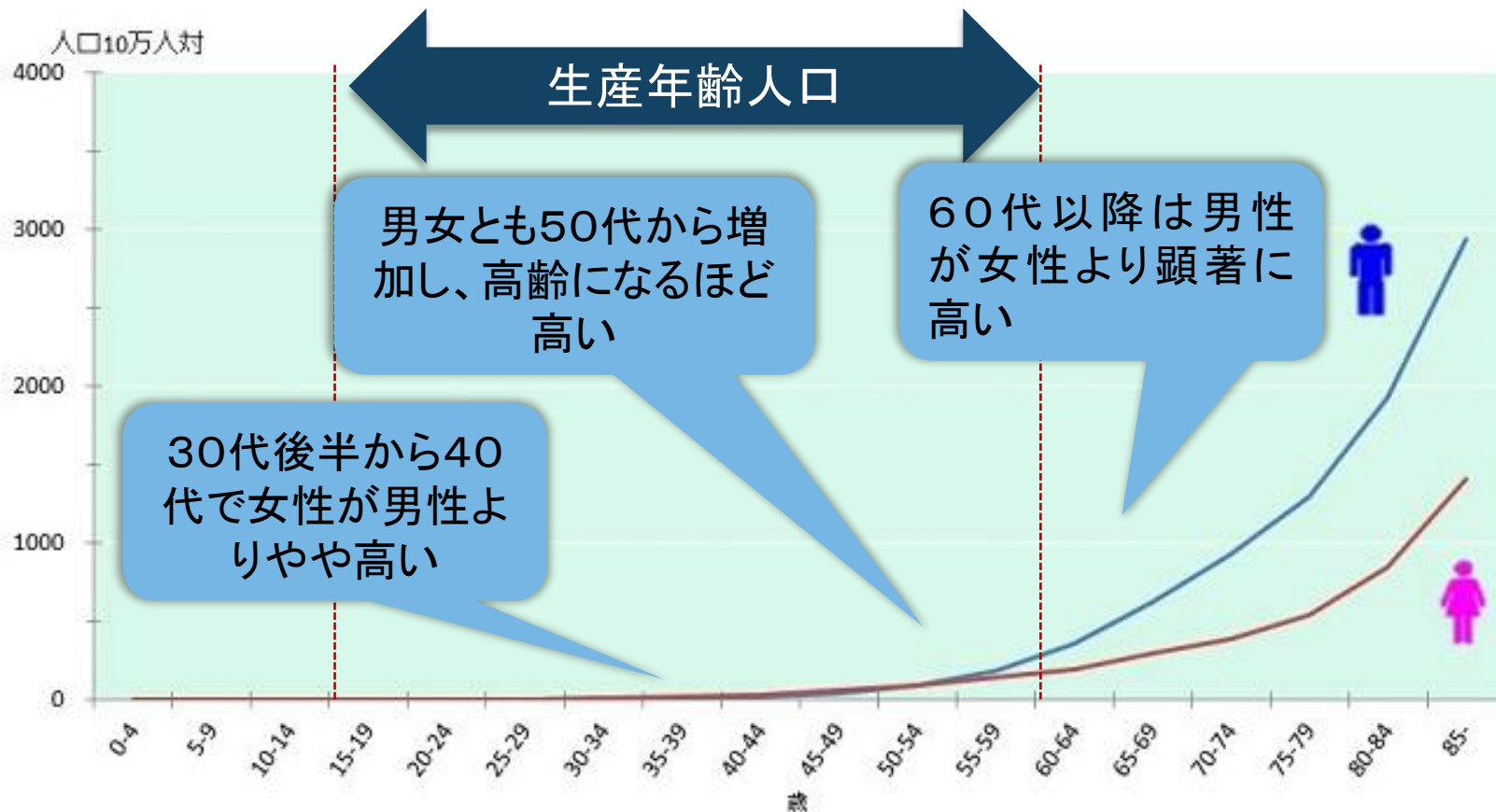


早期に発見、適切な治療ができれば医療費は抑えられ、再発リスクも低減→経済的負担減

がんの「収入減」の問題のポイント

# がん患者の3人に1人が働く世代

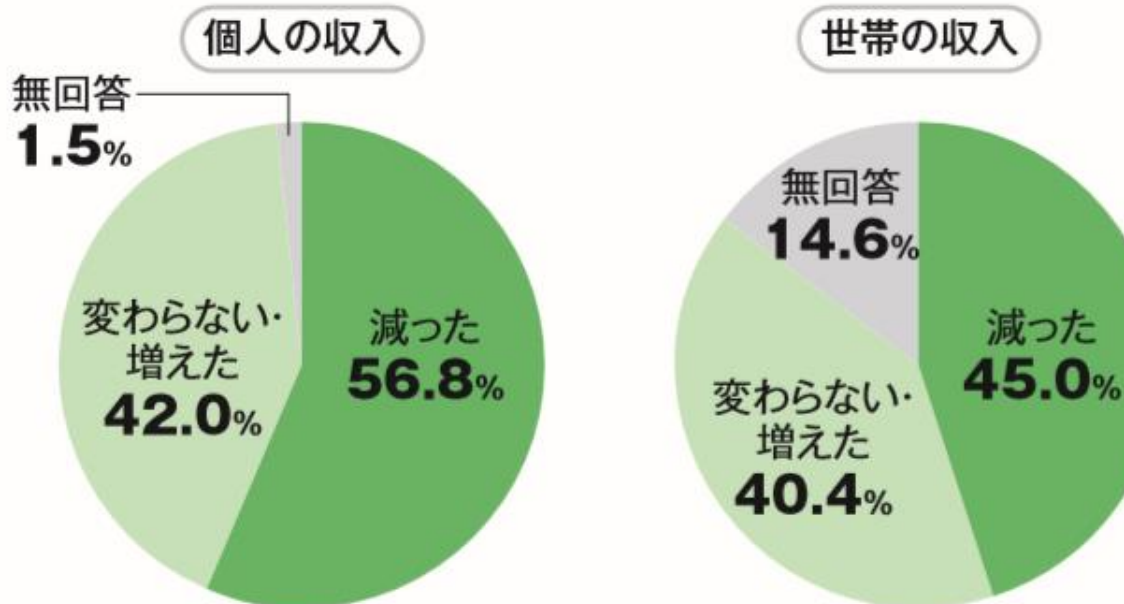
がん罹患率（年齢階級別罹患率 全部位2017年）



# 「がん」が収入に与える影響

## ◆がん罹患後の収入の変化

### がん罹患による収入への影響の有無



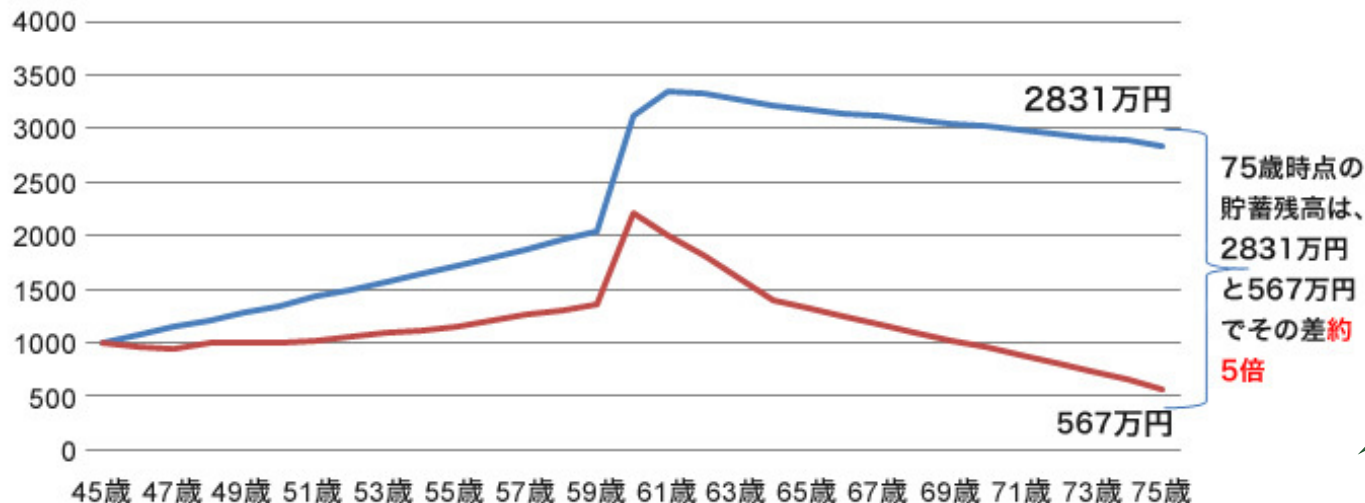
患者個人だけでなく、それを支える家族(世帯)の収入減少の可能性大

出所:東京都福祉保健局「がん患者の就労等に関する実態調査」2014年5月



# 乳がんにかかった場合としなかった場合のキャッシュフロー

乳がんにかかった場合・しない場合の  
キャッシュフロー比較



罹患後、毎月の給与だけでなく、退職金、公的年金受給額など生涯年収が変わる可能性あり

— 罹患しない場合の貯蓄残高 — 罹患した場合の貯蓄残高

<前提条件>

A子さん(45歳) 年収400万円 会社員(正社員) 独身、賃貸、金融資産1,000万円

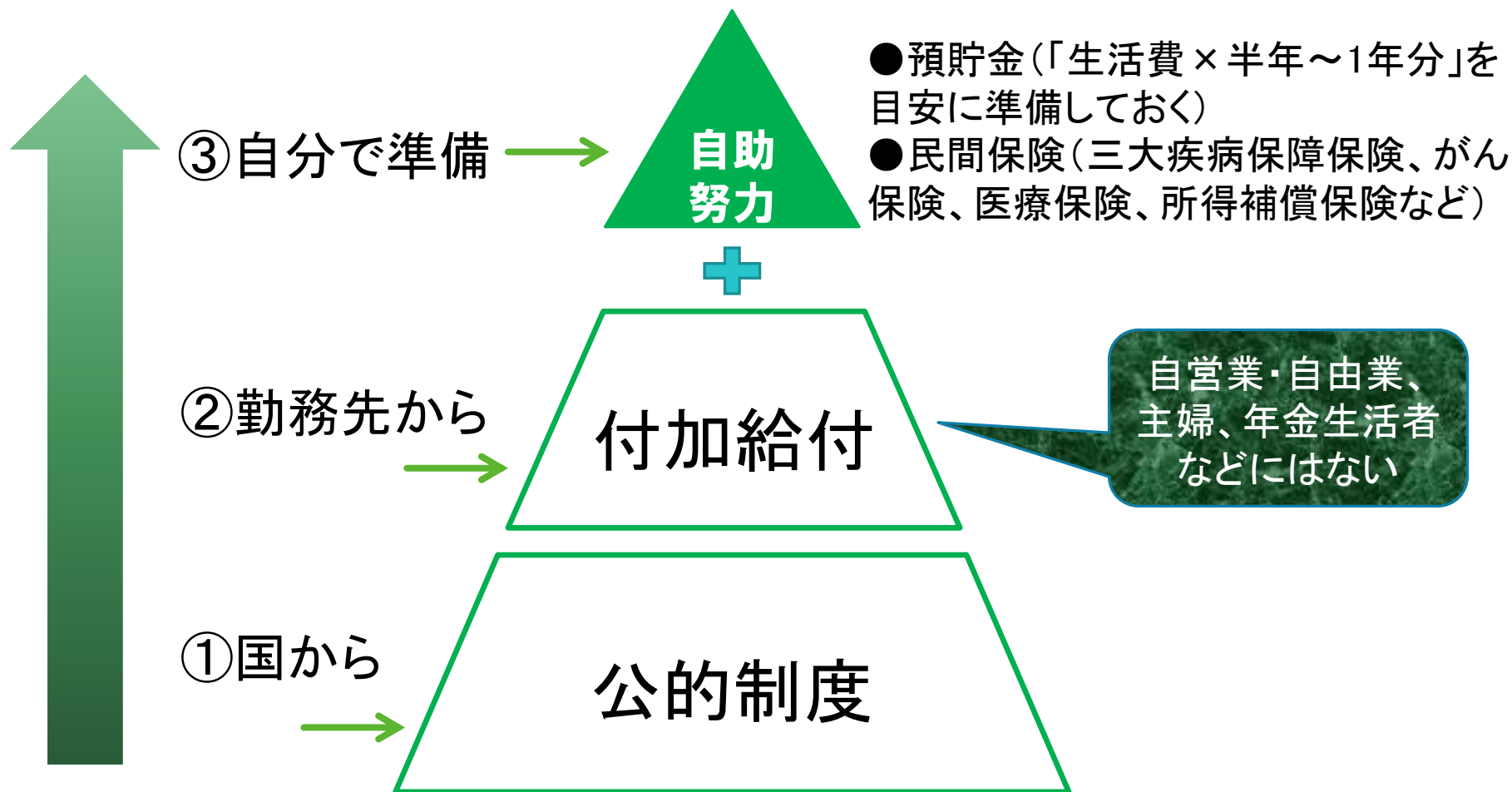
【罹患しなかった場合】

- ・60歳定年時に退職金1,000万円
- ・その後64歳まで嘱託社員として働く(年収は現役時代の50%)
- ・65歳から老齢基礎年金+老齢厚生年金(年金額160万円)を受け取る
- ・65歳から確定年金(年金額20万円)を受け取る

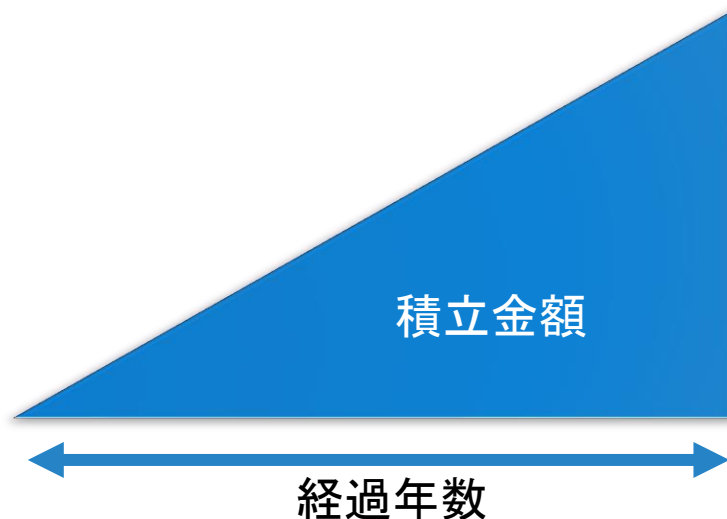
【罹患した場合】

- ・ステージはIIa。乳房全摘出後、抗がん剤治療(半年)、ホルモン治療を5年間行った。乳房再建手術も受けた
- ・罹患した翌年以降5年間は年収2割減。7年目以降、定年までは1割減と仮定
- ・がん保険から罹患した年に給付金150万円受け取る
- ・60歳定年時に退職金800万円
- ・その後64歳まで嘱託社員として働く(年収は現役時代の50%)
- ・65歳から老齢基礎年金+老齢厚生年金(年金額120万円)を受け取る
- ・65歳から確定年金(年金額20万円)を受け取る

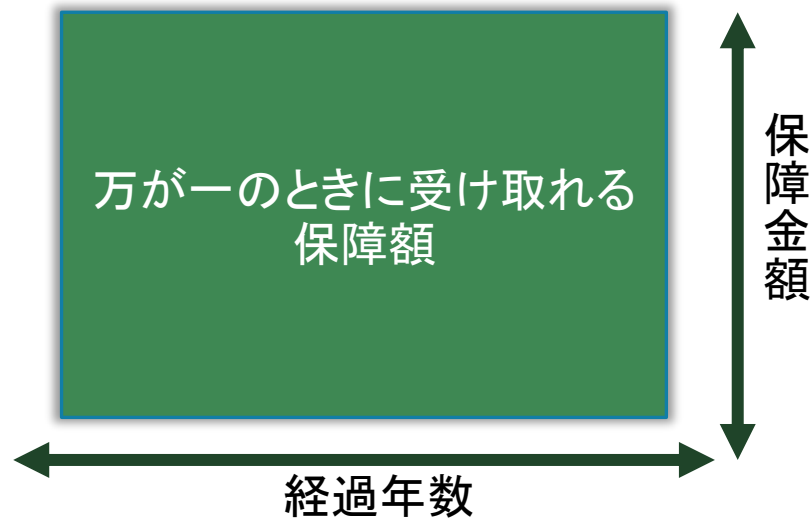
# 「がん」に備える方法のイメージ



# 預貯金と生命保険の役割の違い (貯金は三角、保険は四角)

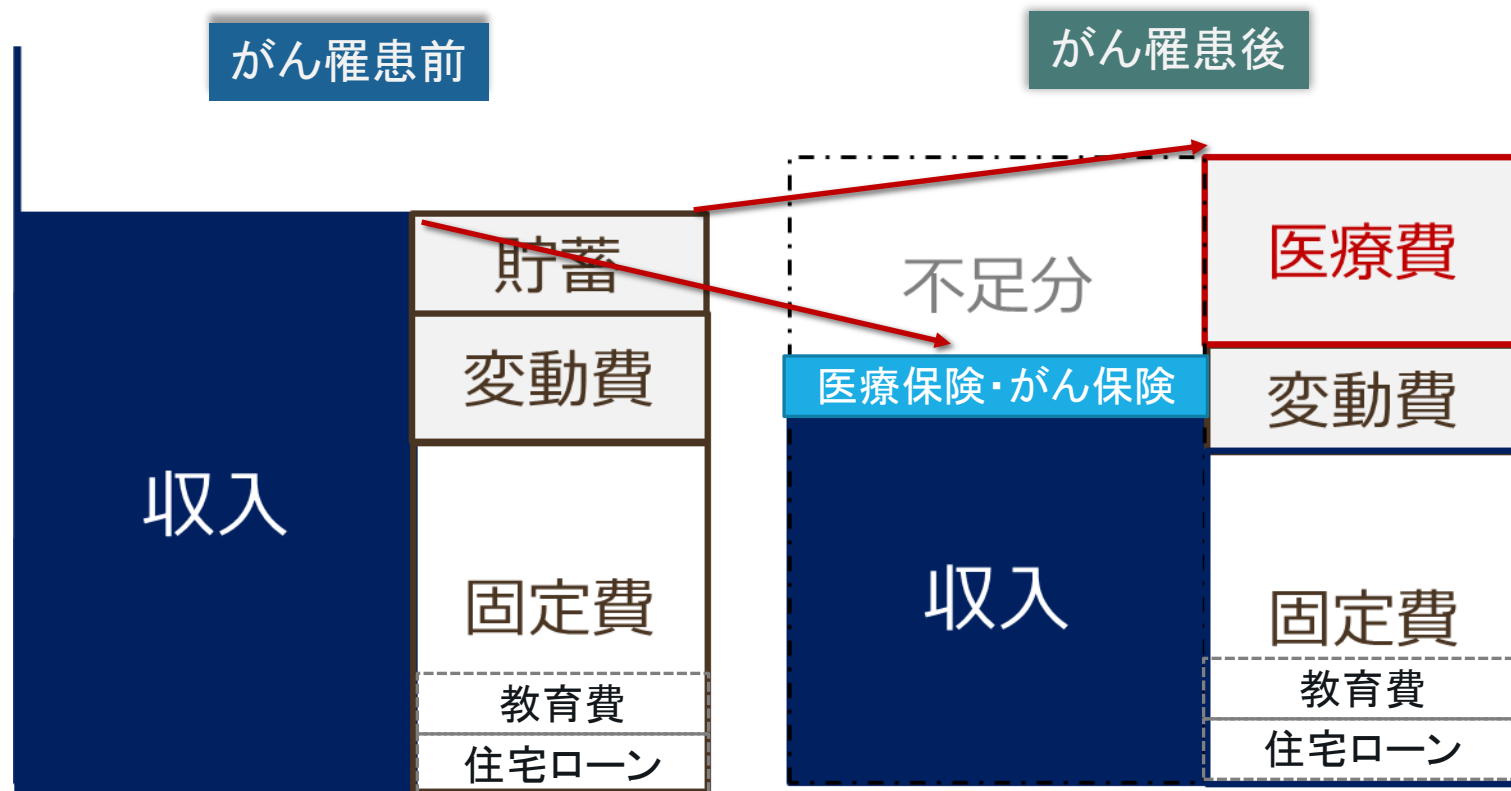


貯蓄(預貯金)は、一般的に期間が経つにしたがって、徐々に元利合計が増えていく



生命保険は、契約が成立したときから契約した保険金額が受け取れる

# がん罹患前後の家計の変化



# 罹患後の家計を改善させる方法は2つだけ

## 収入をふやす

長期に安定して働く

働き手をふやす

公的制度を利用する

民間保険に加入する

運用する(税制優遇のある商品の利用)

不動産の活用(売却・賃貸・リバースモーゲージ)

## 支出をへらす

医療費の節約(ジェネリックの活用など)

固定費(住宅ローン、教育費、生命保険料)の見直し

変動費(食費、交通費、通信費など)の見直し

減った収入に応じて支出を調整する

# 住宅ローン返済の見直し法

住宅ローン返済の調整方法一覧表

希望	支払い調整期間	方法	内容	手続きの場所
住み続けたい	短期	リスケジュール	返済条件の変更	金融機関
	中長期	セール&リースバック	売却し賃貸へ変更	不動産会社
		リバースモーゲージ	住宅を担保にお金を借り、利息のみ返済。死亡後売却	金融機関
		リバースモーゲージ型住宅ローン	借り換えし利息のみ返済。死亡後売却	金融機関
手放さず他に居住	中長期	賃貸	賃貸料で住宅ローンに充当する	不動産会社・金融機関など
		マイホーム借り上げ制度	契約内容により住宅に戻ったり売却も可能	JTI 移住住みかえ支援機構
手放しても良い		任意売却	売却価格によりローンが残る可能性あり	不動産会社など
		競売	滞納が続き住宅ローンを借りている金融機関経由で裁判所の管理となる	

# がん経験者でも加入できる 医療保険・がん保険

## ◆がん経験者でも加入できる民間保険

### ① 無選択(無告知)型 医療保険

#### 特徴・ポイント

健康状態の告知・医師の診査の必要なし。年齢制限さえ満たせば、がん治療中であっても加入できる

#### 注意点

- 既往症や現在治療中の病気は、基本的に**保障の対象外**
- 保険に加入してから**90日間**は保障の対象外

### ② 引受基準緩和 (限定告知)型医療保険

#### 特徴・ポイント

加入できる基準が緩和。がんが寛解(病状が落ち着いて安定した状態)・完治した状態でなくても申込みできる商品もある

#### 注意点

- 加入後**1年間**は保険金額は**1/2**となる
- 一部特約については、加入してから**90日間**はがんは保障の対象外

### ③ がん経験者向けがん保険

#### 特徴・ポイント

がん経験者向けに開発されたがん保険

#### 注意点

- 商品数が少ない

# 罹患後の保険の見直し手順

---

ステップ1: 自分が加入している公的保障から受けられる制度・サービスを洗い出す

ステップ2: イザという時に使える預貯金がどれくらいあるか考える(目安は生活費の半年分~1年分)

ステップ3: 加入している民間保険が今の自分の保障ニーズ、医療の現状、保険料と給付内容のバランスが取れているかをチェック

ステップ4: 必要に応じて保障を減額・追加する(本人の加入が難しければ家族の保障の上乗せ、自家保険(医療貯蓄)で備える方法も有効)

ステップ5: 保険料の払込み確認や保険証券の管理など、必要に応じて家族に伝えておく(残高不足で失効等にならないように)